

ERIS マークの付いた行事は「えりす いしかりネットテレビ」でもご紹介しています。あわせてご覧ください! <http://www.i-eris.tv/>



消防団協力事業所 表示証交付式を行いました

石狩北部地区消防事務組合では、3月1日(月)、消防団と地域の事業所との協力体制を促進するため、消防団に積極的に協力している9事業所(石狩6、当別1、新篠津2)に対し、社会貢献の証しとして表示証(プレート)を交付しました。

市内協力事業所 ※申請受付順
(株)海陸興業(新港南)／厚田産業(株)(厚田区厚田)／石狩市農業協同組合(八幡2)／(株)沢田建設工業(厚田区小谷)／浜益海運(株)(浜益区柏木)／宗教法人能量寺(親船町)



管轄区域では初めての認定となる事業所の皆さん。協力事業所は、従業員が消防団に2人以上入団しているなどが認定要件となります。

わらしっ子まつりinはまます ERIS

3月6日(土)、浜益コミセンに約250人の子どもたちが集まりました。編み物やダーツ、コースター作りなどを体験するともらえる通貨「きらり」でお菓子を買ったり、くじ引きなどを楽しみました。また、外ではスノーモービル体験も行われ、「童っ子」たちにとって大満足の1日となったようです。



「ちびっ子相撲」では、会場全体が勝負の行方を見守りました。

石狩への思い、 サケへのこだわり

2月15日(月)、石狩温泉で開かれた「観光魅力づくり・おもてなし意識醸成講演会」の講師は、高品質海産物で有名な佐藤水産(株)の佐藤壽社長。幼少のころ本町地区で育った同氏は、新港地区のサーモンファクトリー店と本町地区のかつての「佐藤商店」跡地に魚醤工場をオープンさせた経緯を自身の石狩への思いを込めて熱弁し、さらには天然サケを使用したみそづくりについての構想を披露するなどして聴衆を沸かせていました。



本町地区の活性化を目指す「いしかり本町ぶらり・さんぽ会」の主催。全6回の最終回となった今回は、これまでの中で最も多い126人の参加がありました。

魔法のトレーニング!?

短時間での筋力アップや美容の面から注目を集めている加圧トレーニング。3月15日(月)、B&G海洋センターで、市内初の講習会が開かれました。市体育協会の「スポーツ指導者セミナー」として企画されたもので、オリンピック選手のトレーナーも務めている鎌倉一氏の指導のもと、講義・実技が行われました。参加者は予想以上のベルトのきつさに驚きながらも、翌日の体の変化を期待しながら楽しんでいました。



専用のウェアに身を包み、腕と脚に加圧ベルトを巻いてスクワット!

まちの話題

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。

厚田の海が群来しました ER3

2月19日(金)、厚田区みねとまりの横泊よこどまりから古潭こたんにかけての沿岸にニシンの群来を確認することができました。ニシンの大群が浅瀬に押し寄せ、産卵により海が乳白色に染まるこの光景はまさに「幻想的」の一言。春には稚魚にふ化し、数年後には「春告魚」としてまた厚田に戻ってきてくれることでしょう。

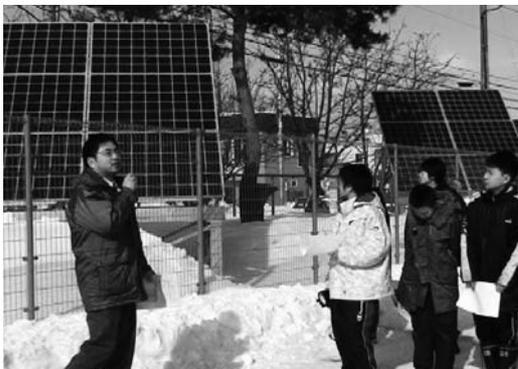


海藻に付いたニシンの卵



花川南小に太陽光発電システム導入 ER3

市内小中学校初の太陽光発電システムが花川南小学校に設置され、2月18日(木)、6年生対象の学習会が行われました。このシステムは、1時間当たり最大5キロワットの発電が可能で、学校施設の電力のほか、児童の環境教育の教材として活用されます。子どもたちはパネル本体や学習用のモニターを見ながら、発電の仕組みやCO₂削減効果、消費電力計算、地球温暖化などについて興味深げに学んでいました。



浜益牛が種雄牛に?評価は上々

種雄牛しゅゆうぎゆうとは、牛の繁殖や品種改良のために飼育される血統の良い牛のこと。正式な種雄牛と判定されるのは、全道からの候補牛10頭のうち1頭程度と狭き門ですが、浜益産の黒毛和牛がこれまでの検定調査で非常に優秀な成績を収め、期待を集めています。最終的な判定は平成25年ともう少し先ですが、浜益から種雄牛が輩出される日はそう遠くはなさそうです。



種雄牛候補の「幹壺」。浜益和牛生産改良組合の河野幹男さんが生産し、寺山幸夫さんが育てた牛です。

市民図書館で絵本原画展

2月23日(火)~3月7日(日)、市民図書館で絵本『オロロンとぶ島』(文・越智道子、絵・大井戸百合子)の原画展が催され、最終日には絵本・銅版画家の大井戸百合子さんを招いてのギャラリートークがありました。実際の絵を前に、描くときどんな工夫をしたのか大井戸さんによる説明があったほか、途中から越智道子さんも駆けつけ、大井戸さんに挿絵をお願いした経緯など、ここぞしか聞けない話に参加者たちは耳を傾けていました。



『オロロン とぶ島』のギャラリートークにて。大井戸百合子さん(右)と越智道子さん(左)。

いしかり市民カレッジ・1年間を振り返る

2月25日(木)、開校1周年を記念して、花川北コミセンで学園祭が開催されました。記念講座では、講師の田中實さんが花川地区の歴史について語り、学びの体験発表会では、参加者が6つのグループに分かれて活発な意見交換を行いました。カレッジ生以外の参加も多く、地域やカレッジへの関心の高さが感じられた一日でした。



市内の女声合唱団「アルバ・コラーレ」の皆さんと一緒に、1周年を祝って合唱も楽しみました。